



年 組 名前

道新で
ワークシート

装い鮮やか 鐘高らか

改修終了 札幌時計台 来月再開館



国の重要文化財の札幌市時計台（中央区北1西2）で行われていた改修工事が15日、終了した。11月1日から5カ月ぶりに開館する。当日は入館した先着100人に、時計台が描かれたマグネットを贈る。
（本郷由美子）

大規模改修は1998年 補修し、白い壁や赤い屋根以来20年ぶりで、6月中旬 を塗り直した。事業費は約5600万円。一時は時計

台が保護シートで覆われ、外観が見えなくなっていた。シートは塗装終了後の9月下旬に撤去された。

11月1日は、時計台の非公式キャラクター「とっけ」などが入館者を出迎える。

11月3日午前11時から建設140周年の記念式典が開かれ、合唱コンサートなどが行われる。

開館時間は午前8時45分～午後5時10分。観覧料200円で、高校生以下は無料。観覧料を払えば、だれでも式典に参加できる。

時計台は1878年（明治11年）、札幌農学校（現北大）の初代教頭だったクラーク博士の構想で演武場として完成した。81年に振り子時計が設置された。毎時鐘を鳴らし、札幌のシンボルとなっている。

20年ぶりの大規模改修工事を終えた札幌市時計台。11月から装いも新たに開館する15日（浅利文哉撮影）

2018年10月16日朝刊社会面

①時計台は、いつ、何のために作りましたか。

②時計台の鐘（かね）の音は、札幌のシンボルとして親しまれています。あなたの住んでいる地域は、どのようなものがシンボルとして大切にされていますか。